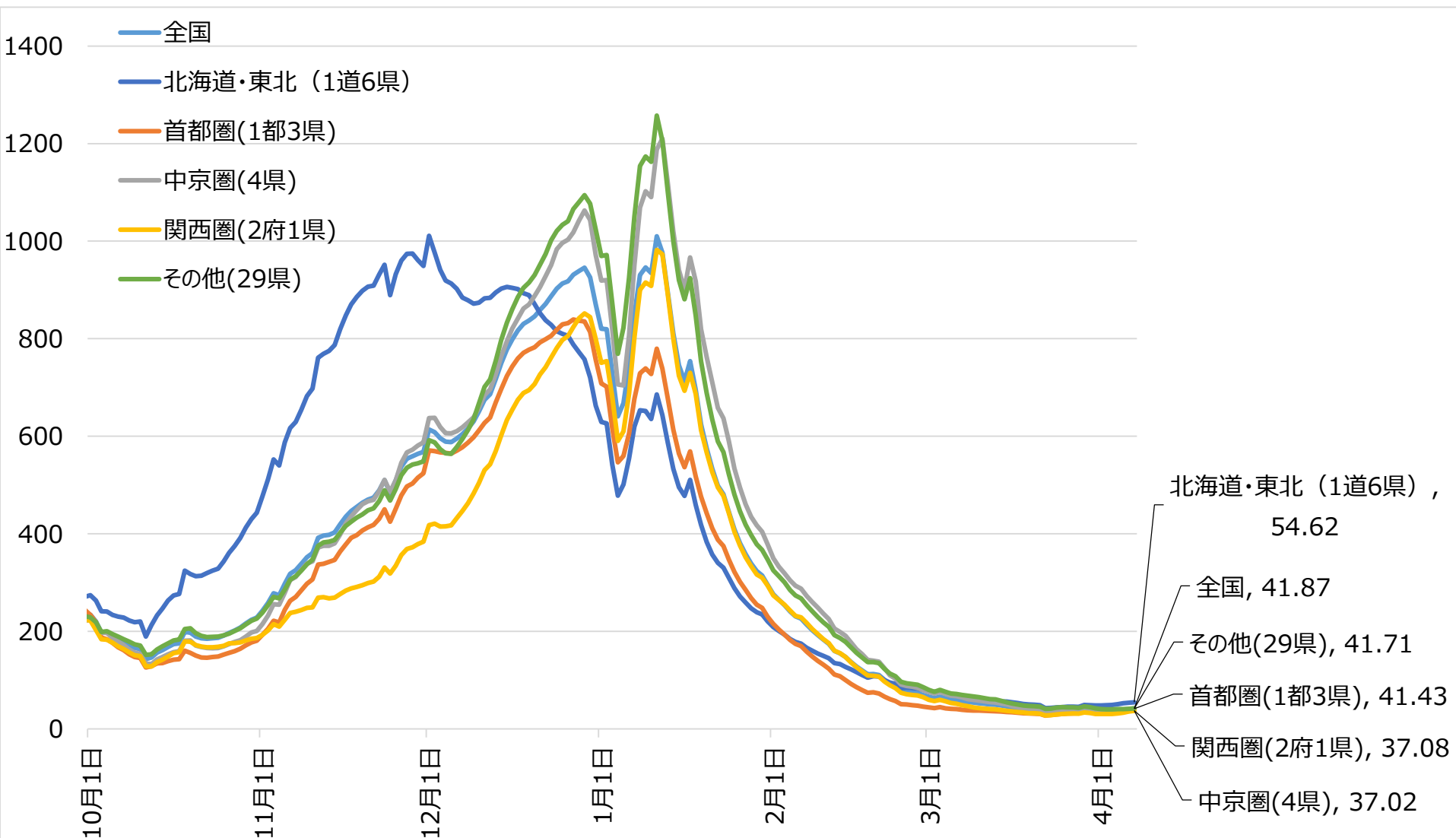


新型コロナウイルス感染症患者の 発生状況等について

日本における新規感染者数の推移（圏域）

1週間移動合計対人口10万人
R4.10.1~R5.4.7

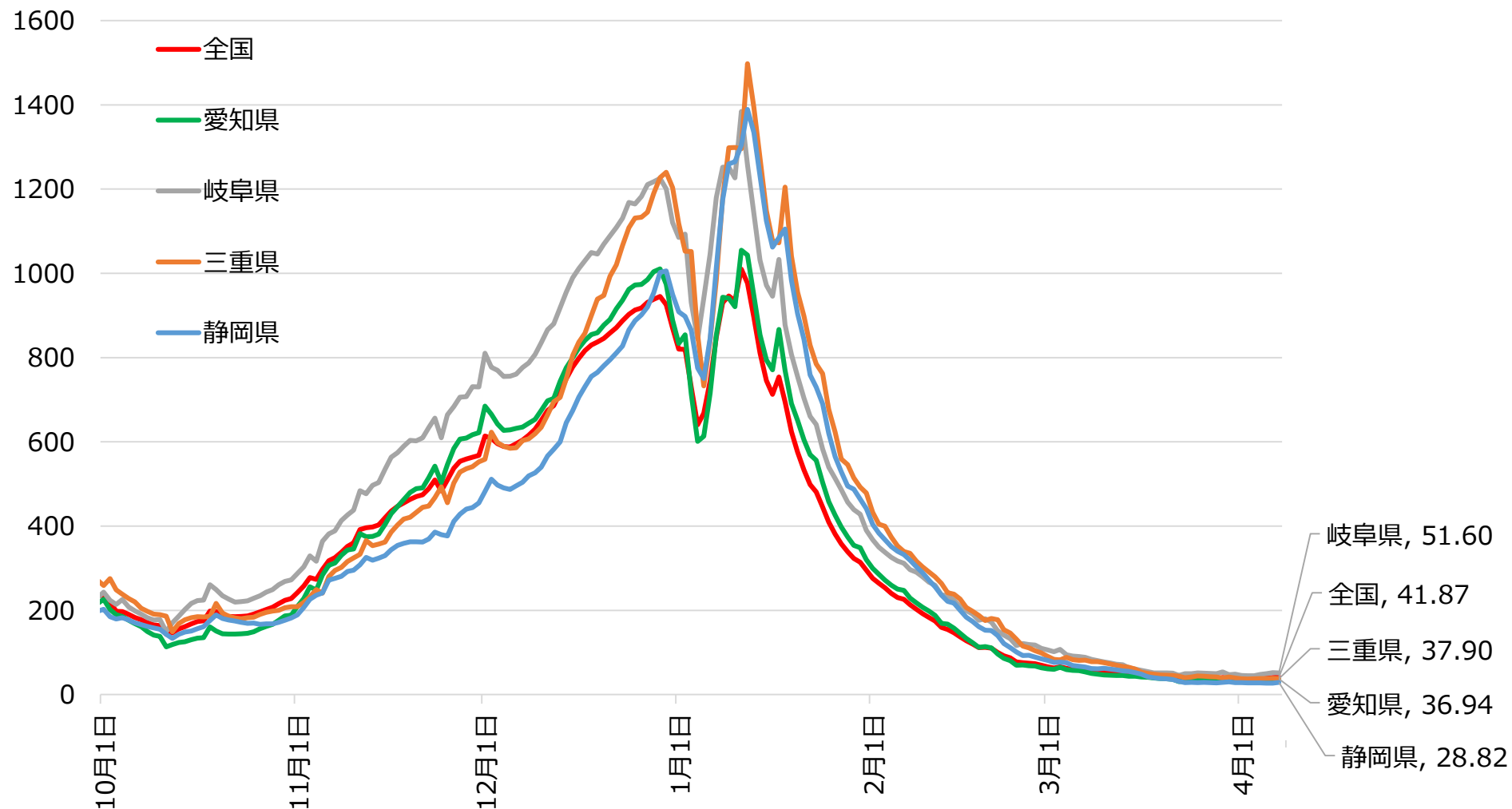
- ◆ 第8波では、年末年始にかけてピーク到来
- ◆ 北海道・東北圏域では、他より早く11月下旬～12月上旬にピーク到来



日本における新規感染者数の推移（中京）

1週間移動合計対人口10万人
R4.10.1~R5.4.7

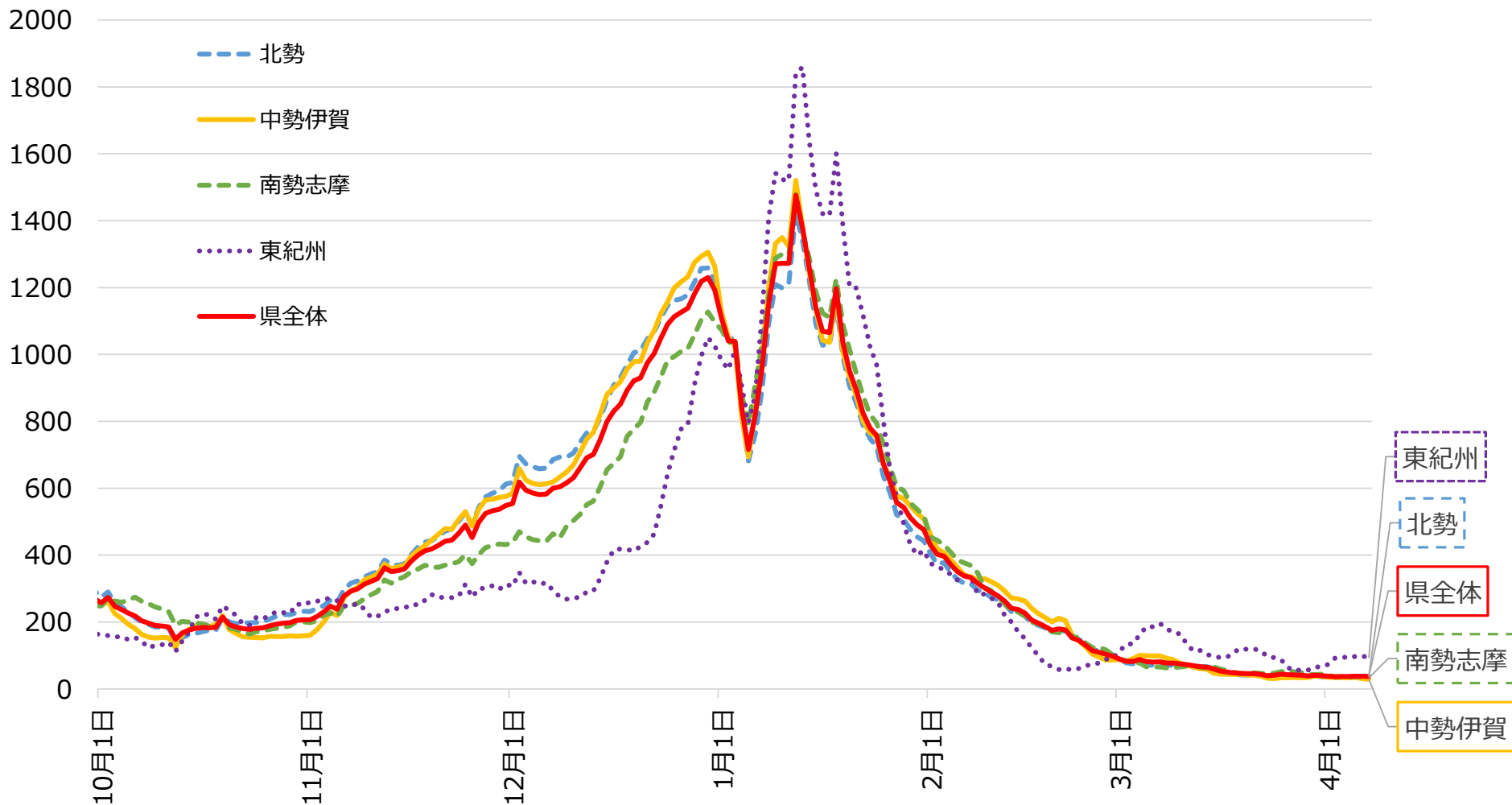
- ◆ 中京圏においても、**年末年始にかけてピーク到来**
- ◆ 岐阜県、静岡県、三重県では、ピーク時の感染者数は人口あたりで全国を上回っている



新規感染者数の推移（圏域別比較）

1週間移動合計対人口10万人
R4.10.1~R5.4.7

- ◆ 県内においても、**年末年始にかけてピーク到来**
- ◆ 1月中旬～下旬にかけて、東紀州圏域の感染者数は人口当たりで県全体を上回っている

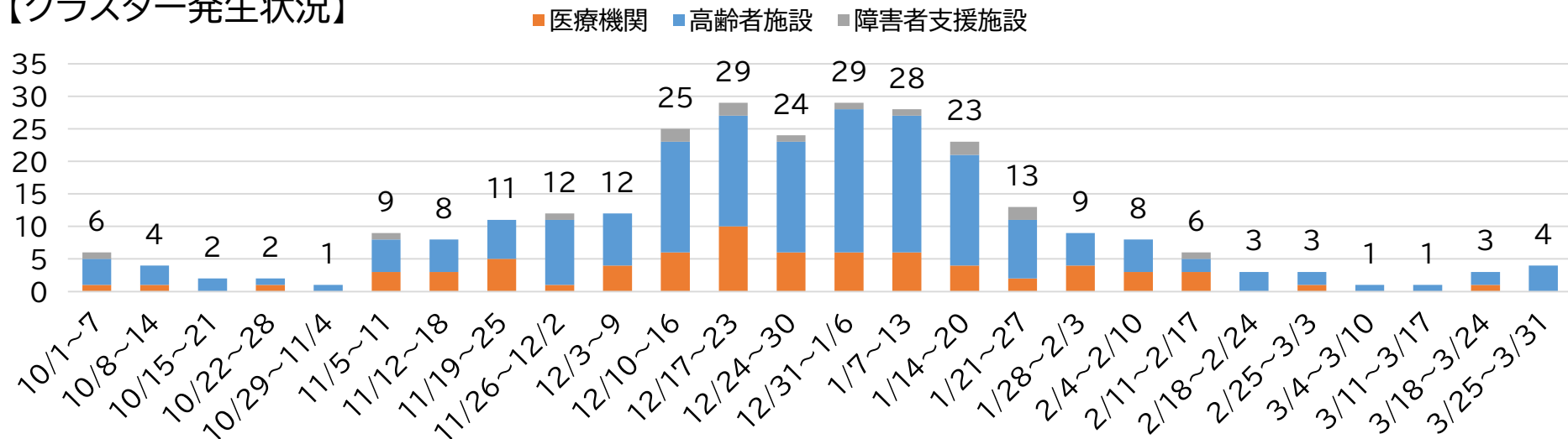


クラスター発生状況

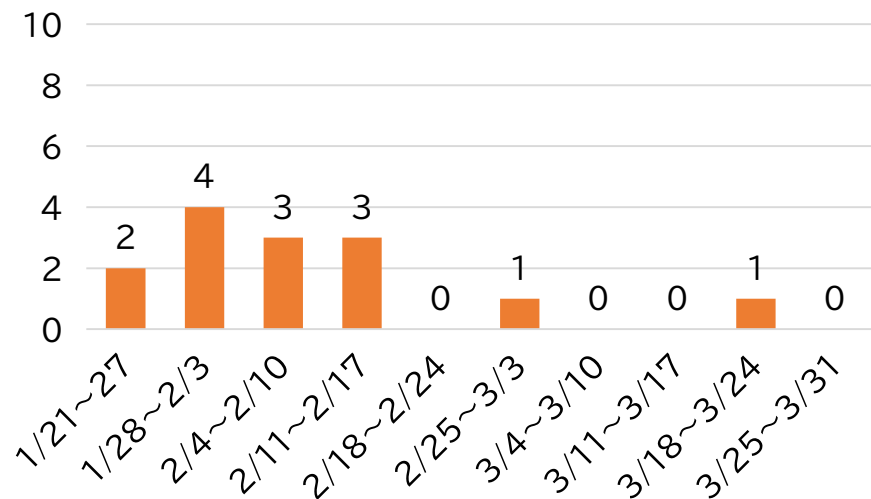
集計期間：R4.10.1～R5.3.31

- ◆ クラスター発生状況は、**年末年始にかけてピーク到来**
- ◆ **1月下旬以降減少傾向が継続し、直近のクラスター発生件数は5件未満で推移**

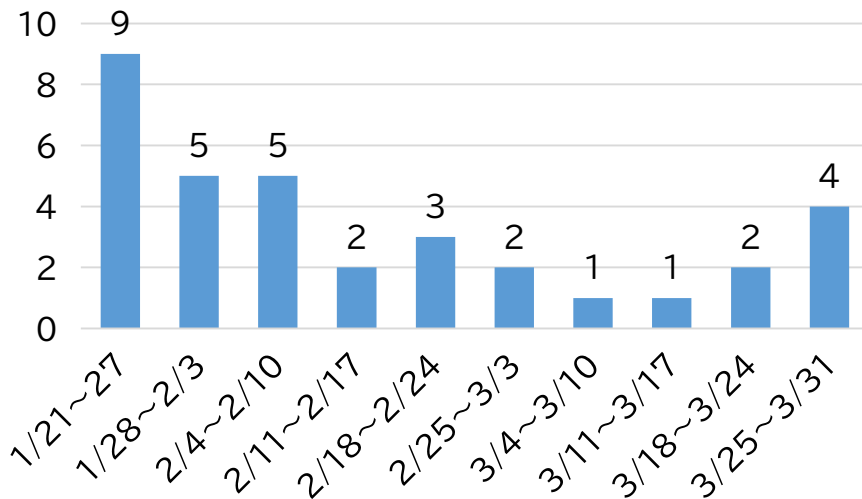
【クラスター発生状況】



【医療機関発生状況】



【高齢者施設発生状況】



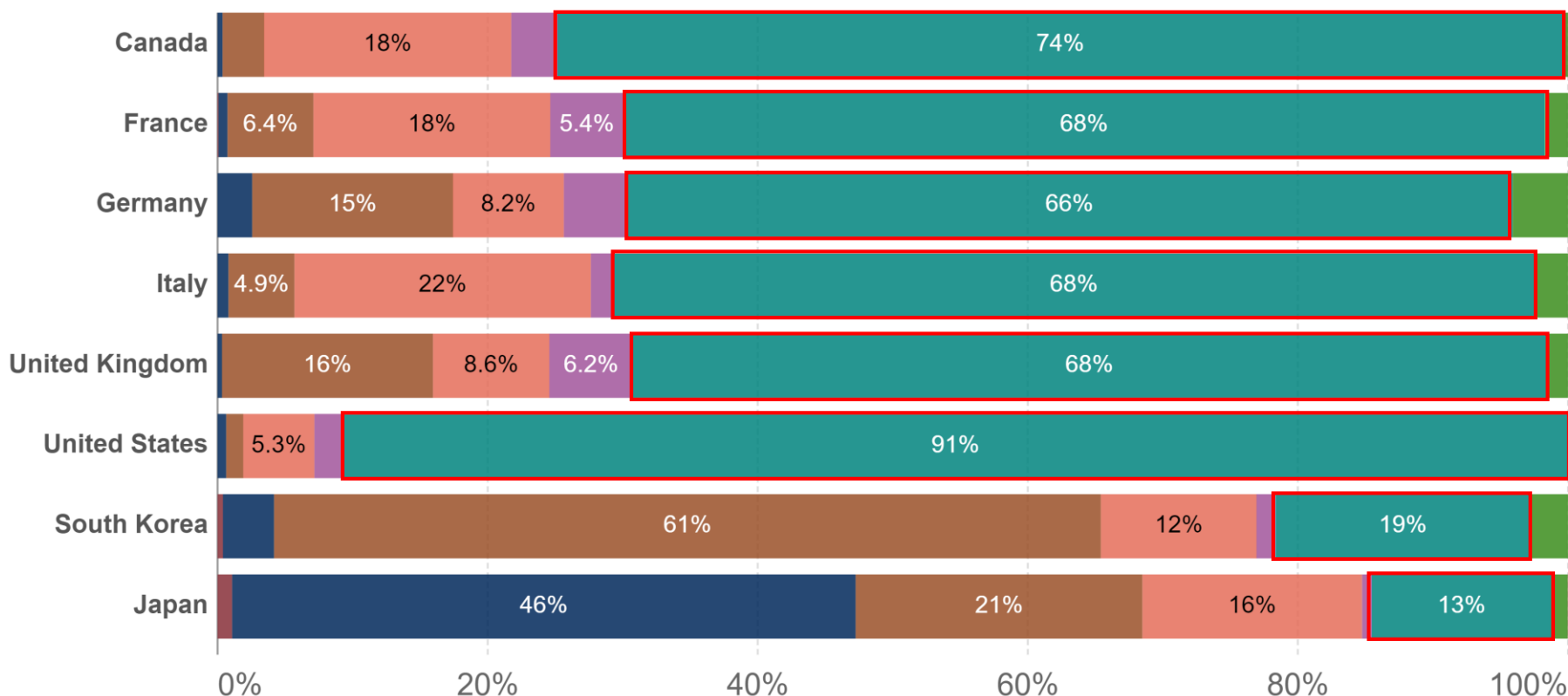
変異株流行状況（世界）

R5.3.27時点

◆ 日本ではBA.5系統が主流であるが、欧米ではXBB.1.5系統が主流

【変異株国別流行状況（R5.3.27時点）】

Alpha Beta Gamma Delta Omicron (BA.2) Omicron (BA.1) Omicron (BA.5) Omicron (BA.4)
Omicron (BA.2.12.1) Omicron (BA.2.75) Omicron (BQ.1) Omicron (XBB) Omicron (XBB.1.5)
Recombinant Others

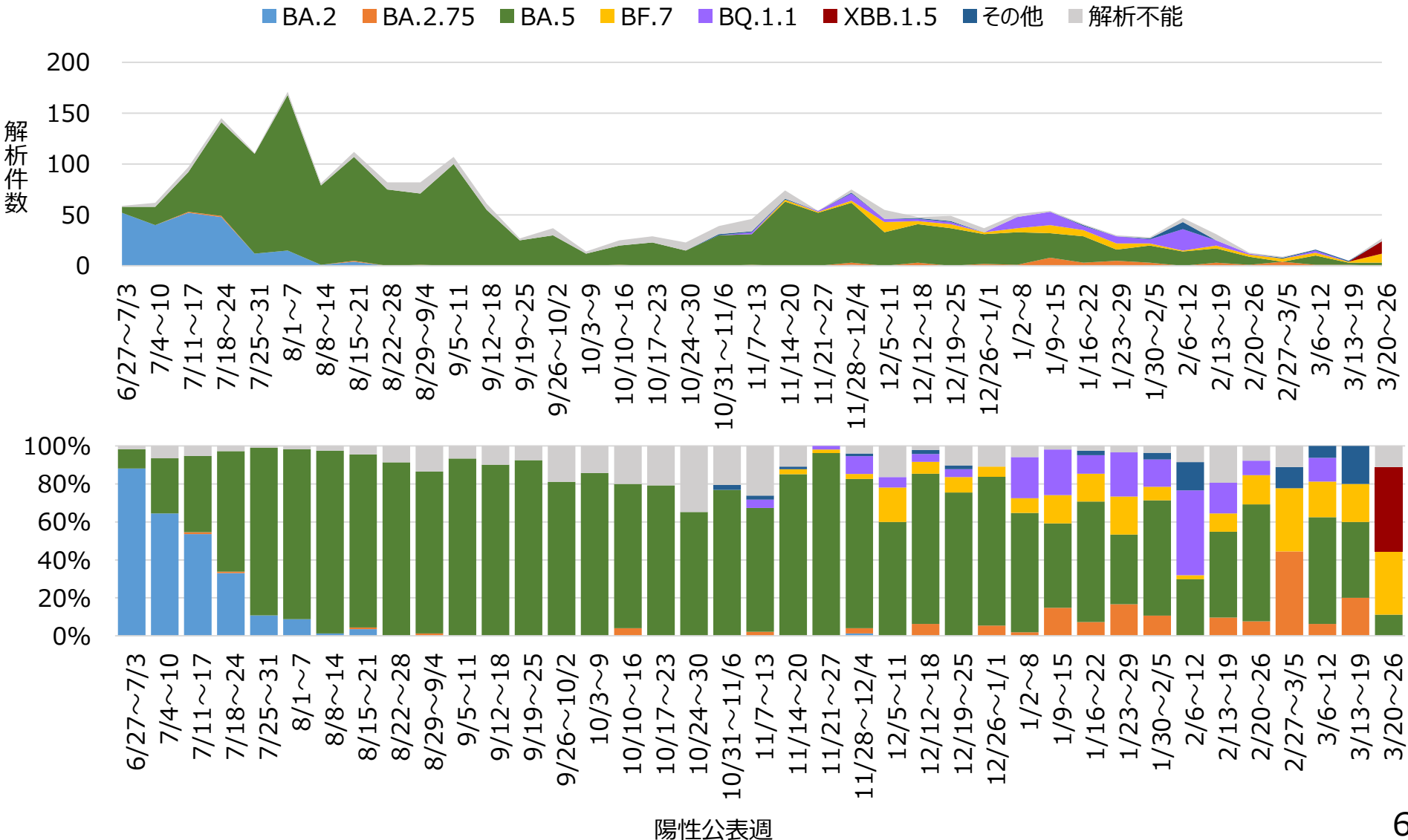


※Our World in Data (<https://ourworldindata.org/covid-cases>)

ゲノム解析状況（県内）

集計期間：R4.6.27～R5.3.26

- ◆ 本県においては、8月頃にBA.2系統からの置き換わりが進み、BA.5系統が主流となる
- ◆ 11月以降は複数の亜系統が確認され、直近では**XBB.1.5**系統を初確認

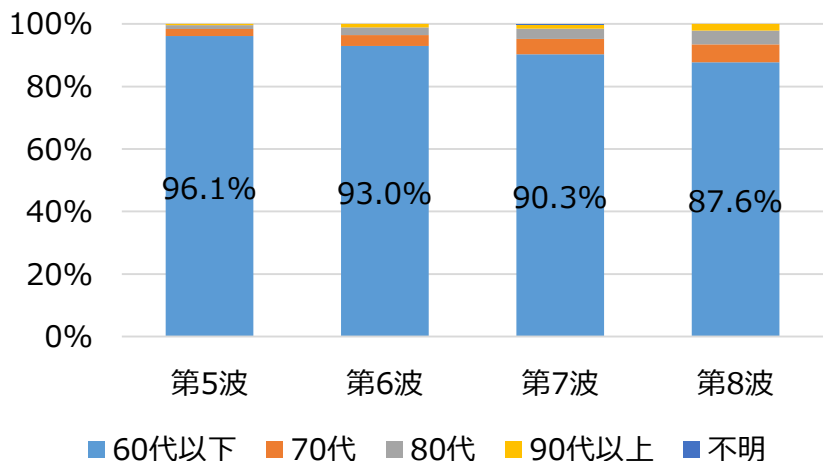


死亡者（第5波～第8波）

第5波：R3.7.1～10.31 第6波：R4.1.1～6.23
 第7波：R4.6.23～10.26 第8波：R4.10.27～R5.3.31

◆ 第8波の感染者数は第5波の20倍以上、第8波の致死率は第5波の半分以下

患者年代別構成



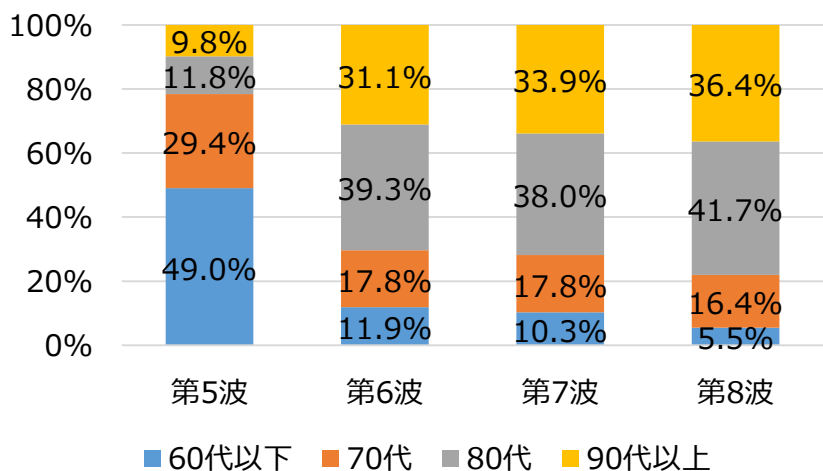
第5波	60代以下	70代	80代	90代以上	不明	計
新規患者数	9,162	219	113	38	1	9,533
死亡者数	25	15	6	5	—	51
死亡者数／新規患者数	0.27%	6.85%	5.31%	13.16%	—	0.53%

第6波	60代以下	70代	80代	90代以上	不明	計
新規患者数	65,939	2,409	1,741	814	17	70,920
死亡者数	16	24	53	42	—	135
死亡者数／新規患者数	0.02%	1.00%	3.04%	5.16%	—	0.19%

第7波	60代以下	70代	80代	90代以上	不明	計
新規患者数	162,952	8,929	5,895	2,514	137	180,427
死亡者数	25	43	92	82	—	242
死亡者数／新規患者数	0.02%	0.48%	1.56%	3.26%	—	0.13%

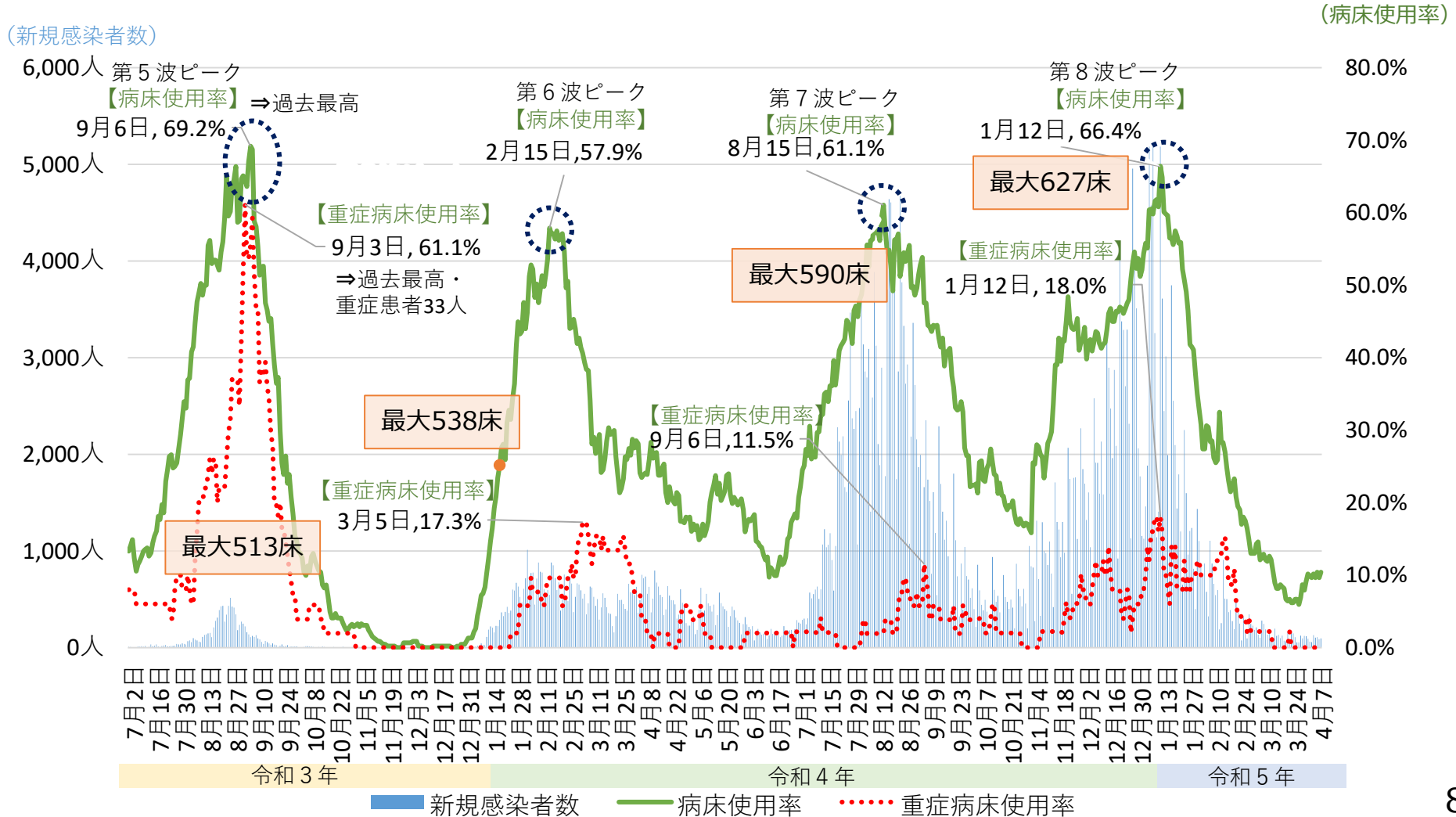
第8波	60代以下	70代	80代	90代以上	不明	計
新規患者数	169,895	11,316	8,550	4,070	31	193,862
死亡者数	27	81	206	180	—	494
死亡者数／新規患者数	0.02%	0.72%	2.41%	4.42%	—	0.25%

死亡者年代別構成

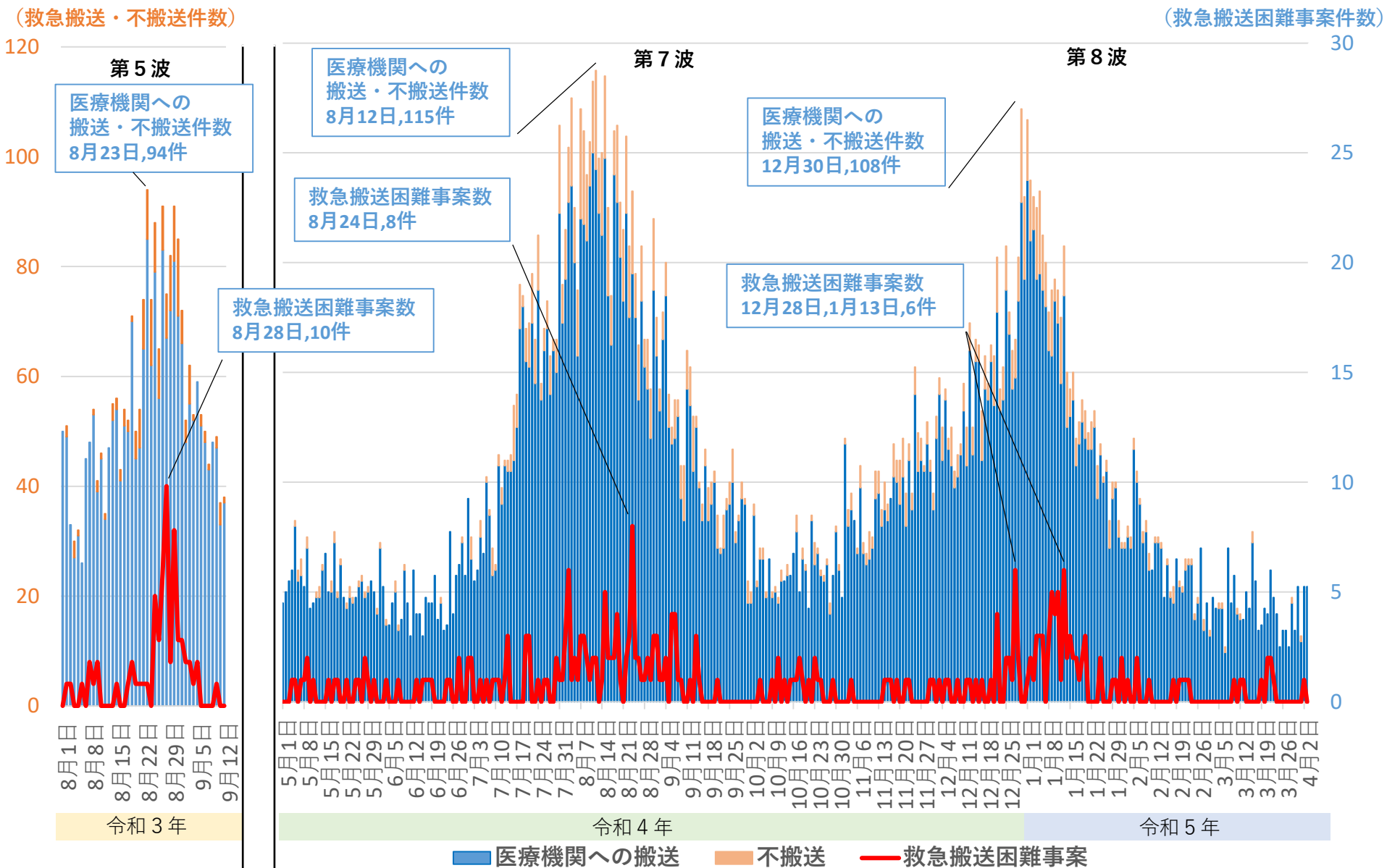


第8波での病床使用率等の推移について

- 第8波における新規感染者数は過去最多であった一方、**病床使用率については、最大確保病床数の増加等を受け、最大でも66.4%**と第5波のピーク69.2%を下回る数値で推移した。
- また**重症病床使用率については、第5波においては60%以上となった一方で、第6波以降は、オミクロン株の特性により、20%を上回ることなく推移した。**



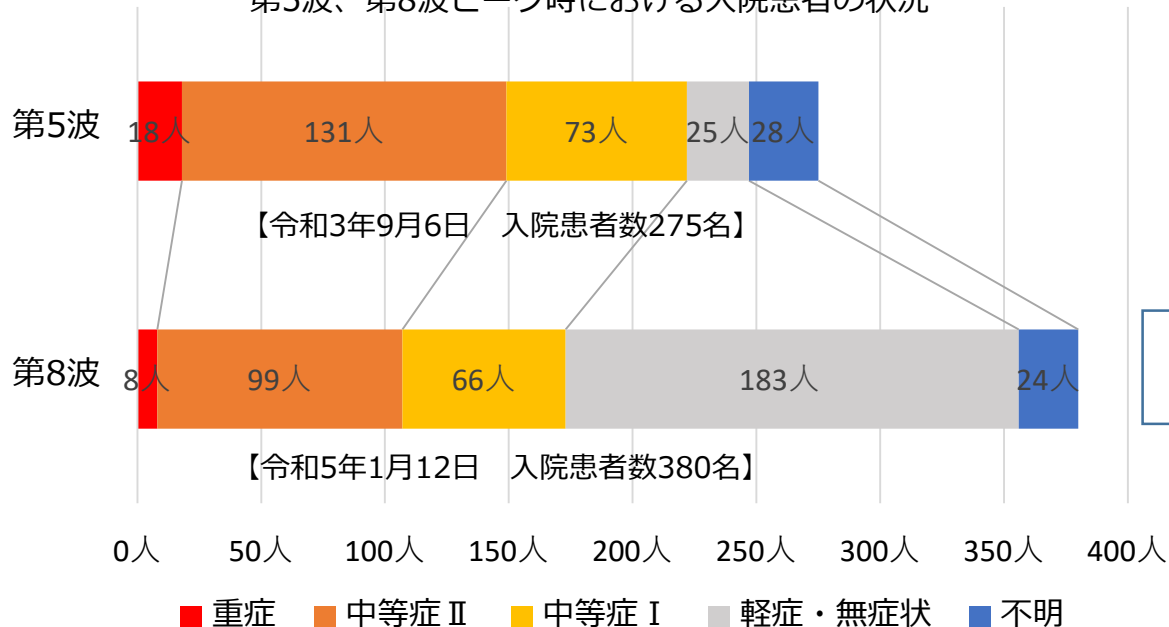
コロナ・コロナ疑い患者の救急搬送件数の推移 (R4.5.1~R5.4.3)



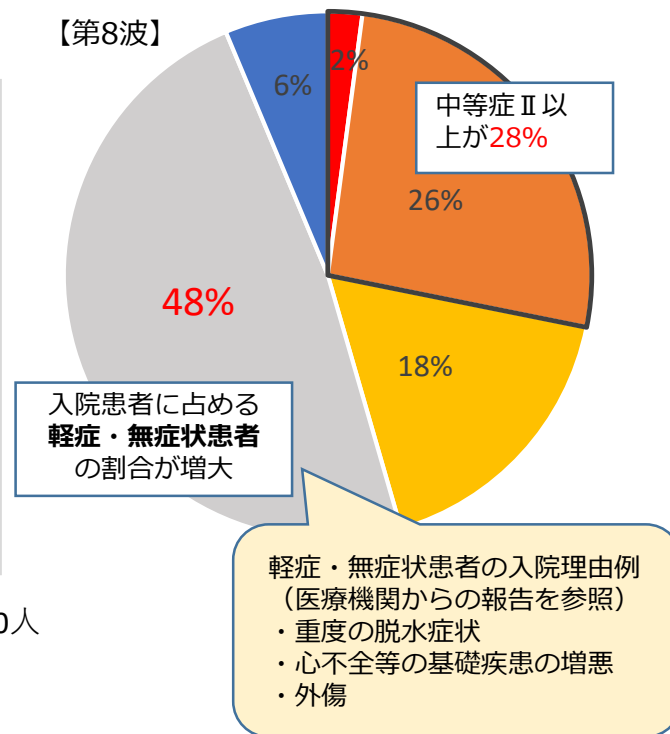
※ 救急搬送困難事案：受入照会回数4回（4回目で搬送先医療機関が決定した事案）以上かつ現場到着から現場出発までの時間が30分以上の事案

デルタ株とオミクロン株流行下における入院患者像の違い

第5波、第8波ピーク時における入院患者の状況



【第8波】



※重症度については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き【第9.0版】に基づいて分類

【入院患者像について】

- 入院患者に占める中等症Ⅱ以上の患者は、デルタ株流行下（第5波）においては、54%であったが、オミクロン株流行下（第8波）においては、**28%**と減少した。
- また、第5波では軽症・無症状者の入院患者は約10%以下であったが、第8波では、入院患者に占める軽症・無症状患者の割合が**48%**と大幅に増大しており、酸素飽和度は大きく低下（コロナとしては軽症・無症状）していないが、基礎疾患の増悪、食事・水分摂取困難等を理由に入院が必要となるケースが大幅に増加。